

あっという間の最終戦。有終の美を飾る為に前回の駆動系のトラブルも改善し、事前テストもしっかりこなしてレースウイークに入ります。オートポリスはコーナリングマシンのロードスターには相性の良いコースです。



11月18日 金曜日 公式練習

決勝と同じ時刻のAM9時からの走行ということで決勝想定でタイヤの摩耗などを確認していきます。セットアップも抜群に決まりクラストップタイムで終了。2本目ではウエット路面になりましたがやはりFF勢には少し遅れる形になります。

11月19日 土曜日 公式予選日

お昼からの予選ですが朝から濃霧でコースも前が見えない状態でお昼までスケジュールはキャンセル状態。そんな中、急に雨が降り出し霧が晴れて予選開始。まずはAドライバーの村上ですがコースイン前にまた霧で中断。20分以上の中断でしたが何とかコースイン。強い雨でFRには厳しい状況の中、ベストの走りが出来てクラス4位。Bドライバーの脇谷選手は少し雨も弱まった中ですがクラス6位で走行してくれて合算でクラス5位からの決勝スタートになります。

11月20日 日曜日 決勝

決勝の朝は曇り。路面はハーフウエットです。AM8時にコースインしてグリッドでタイヤはスリックを選択。筒井選手がスタートドライバーです。8時半から3時間のレーススタート。序盤思った以上に路面の乾きが遅くてズルズルと順位を落とします。我慢の走りをしますが8位まで後退して1時間の走行で脇谷選手に交代。ここから路面の状態も回復して一気にペースを上げていきますが燃料ポンプのトラブルでコース上にストップ。すぐにエマージェンシーポンプでコースに復帰しました1分のロス。本人もこれでペースが崩れたのでラスト1時間で3位との差が約1分。タイヤ無交換で20秒を稼ぎ40秒をコースでというギャンブルで表彰台を目指します。コースインして1周2秒早いペースで69号車を追いかけてますがタイヤのライフも終りかけてずっと滑りながらも絶対に追いつく、とラスト2周で5秒差まで追いますが届かずクラス4位で無念のチェッカー。

総括 チームオーナー-村上

今回は天候に振り回されたレースウイークでした。ロードスターの強さ、弱さが見えたすごく勉強になったレースでした。あと一歩が足りないのはまだまだチーム力が不足してると思います。今シーズンは新型ロードスターにスイッチしてパーツの耐久性など手探り状態でスタートして速さを見せながらもトラブルも多く苦戦しました。それでも新型ロードスターがS耐で走るべきという強い信念の元に新しい車両で挑戦することでたくさんの苦しみの中に勝利と言う喜びを得て更に次の高みを目指したいと思います。スポンサー様はじめたくさんの方に支えられて一年間戦えたことに感謝です。

これからもロードスターを通じてたくさんの方にモータースポーツの楽しさ、クルマを乗る喜びを伝えていきたいと考えます。

まだ、夢半ばです、ぜひ一緒に夢の実現の為に戦ってください、よろしくお祈りします。

